腎不全外科'95

序

東京女子医科大学第 3 外科 太田和夫

腎不全外科 95 をお届けする時期となった。本誌には名古屋で昨年の 6 月 18 日に行った第 3 回の本会の研究会で発表された演題のうち,臨床経験が 10 題,症例報告が 10 題,看護部門が 2 題と合計 22 題が収録されている。これに加えて,大島伸一会長の泌尿器科医としての執念から多発性嚢胞腎について特集が組まれた。この常染色体優性遺伝を示す嚢胞腎患者は全透析患者の 3 3 %, 1993 年に導入された症例の 2.6 %とそれほど多くはないが,それでも慢性糸球体腎炎,糖尿病性腎症,腎硬化症についで 4 番目に多い疾患であり,実人数で約 4,500 名ほどの患者が治療を受けている。これらの患者は嚢胞の出血,感染をはじめ,脳動脈瘤の破裂など合併症の頻度が高く,またシャント作製時には血管攣縮がおき,閉塞しやすいなどいろいろ問題が多い。今回はこの嚢胞腎患者について最近の分子生物学的な研究や遺伝子治療の可能性が探られるとともに,最終的な状態である腎不全・透析患者という面からの検討も加えられ,あわせて腎移植における問題についても言及されている。

また座談会は「腎不全医療のあした-良質で効率のよい医療とは」という主題で、大島会長の司会のもとに各方面の専門家が過去を反省し、現実をふまえ、将来の展望と課題を示すという充実したものになっている。ぜひ、一読をお願いしたい。

腎不全患者の外科手術も、この領域に専門的に取り組んできた病院では試行錯誤の時代から、一応安定期に入ってきたように思う。しかしいまだ知識の普及は十分でなく、施設によっては非常に危険視して積極的な対応をせず、また施設によっては通常の患者と同様の認識で縫合不全や手術創の口多開、高力

リウム血症などで患者を失うという事態もおきている。また透析患者におけるシャントの問題もまだまだ研究,工夫すべき点が残されているように思う。本誌がこれらの問題についての情報を提供し,理解を深めることに役立つことを強く願っている。

目次	
序····· 太田和夫	5
総説	
腎疾患と眼合併症・・・・・・・・・・・・市川一夫	8
内シャントの閉塞性合併症の分類と対処法・・・・・・・、太田和夫	22
特集 多発性嚢胞腎(常染色体優性遺伝)の治療	
はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・東原英二	30
遺伝子学的背景と遺伝子治療の可能性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32
透析前の管理:高血圧の成因とその管理・・・・・・・木村玄次郎	36
多発性嚢胞腎に対する低蛋白食療法・・・・・・・・・・・・椎貝達夫・他	41
常染色体優性遺伝型多発性嚢胞腎患者の慢性透析療法・・中山昌明・他	45
多発性嚢胞腎に対する嚢胞硬化療法	
- 塩酸ミノサイクリンでの検討・・・・・・・・・上桝次郎・他	50
外科的治療:腎摘出の適応と方法、・・・・・・・・・・・・小野佳成・他	<u>.</u> 54
外科的治療∶腎移植術・・・・・・・・・・・・・・・・・・田辺一成・他	, 58
座談会	
腎不全医療のあした一良質で効率のよい医療とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 61
司会 ・・・・・大島伸一	
出席者・・・・両角國男、杉山 敏、山﨑親雄、打田和治、藤田民夫	
臨床経験	
当院における慢性透析患者の全身麻酔手術症例の検討・・・・・沖野功次	•他 76
血液透析患者の単純 X 線所見と骨代謝マーカーの関連について・・高石界	隹•他 79
透析および非透析患者の大腿骨頸部骨折の比較 ・・・・・・・・・・・・・・・・・	也•他83
Blood access と wall shear stress の臨床的検討・・・・・・・・・・・・堀口幸夫	∵他 85
眼科手術前後における透析管理・・・・・・・・・・・・・・・・・藤森明	月・他 87
糖尿病透析患者の白内障手術・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	诏•他 89
腎移植術時の出血量と輸血量についての検討・・・・・・・井上均	」・他 91

死体腎移植の臨床的検討

- 免疫抑制療法の変遷とその成績について・・・・・・・・・・・・竹内宣久・他 93 腎後性腎不全に対する経皮的腎瘻造設術の臨床的検討・・・・・井口宏・他 97 肩関節アミロイドーシスに対する整形外科的手術と

症例報告

行った 1 症例・・・・・・ 久木田和丘・他 116

腹腔鏡下での癒着剥離と PD カテーテル誘導術:高度の

腸間膜腹膜癒着を伴った慢性腎不全患者の1例・・・竹内正至・他 118

下肢切断術を施行した透析患者の 5 例・・・・・・・・・・細井信吾・他 120

看護

大腿骨頸部骨折を起こした透析患者の看護